

今年の12月も「水道管凍結防止強化月間」です！

担当：上下水道部 総務経営課 泉・久恒（電話0979-24-1234）

令和3年1月の寒波による漏水被害を受けて、毎年12月を「水道管凍結防止強化月間」と位置づけ、これまで市民の皆様への広報活動の強化を行ってまいりました。

併せて、短期的な取り組みとして、漏水を早期に止めるため、各家庭の水道メーターボックスに止水栓ハンドルを設置するとともに、浄水能力の強化を図るため、可搬式浄水装置を購入しました。

また、中長期的な取り組みとして、基幹浄水場である三口浄水場の機能強化も進めてまいりましたが、10年に一度といわれた令和5年1月の寒波においても各家庭からの漏水が多発し、給水制限の措置を取る事態となりました。

このため、過去の寒波漏水の原因を踏まえて新たな取り組みを加え、引き続き水道管等の凍結防止対策に努めてまいります。

◆ソフト面の取り組み

・水道管等の凍結防止対策に関する広報活動を強化します

（主な取り組み内容）

- ①水道管凍結防止に関する啓発チラシを全戸配布（市報なかつ1月号）
- ②ケーブルテレビやFMラジオ等の各種媒体を活用して広報
- ③なかつメールやLINE等を活用し情報発信
- ④不動産管理会社や住宅管理会社等へ管理物件の凍結対策の協力依頼
- ⑤水道大口利用者に焦点を当てた凍結防止啓発資料の作成・配布 【新規】
- ⑥専用水道使用者・マンション等の集合住宅への凍結対策チラシの配布
- ⑦水道メーターボックスの保温材を作成し、市内の各公民館等にて配布
- ⑧商工会議所等の団体に会員への周知の協力依頼
- ⑨水道管の凍結対策方法をわかりやすく紹介するため、動画配信中
- ⑩イベントや各種集会等での啓発活動を実施
- ⑪公用車へのステッカー貼付けや啓発用のぼり旗による広報

凍結してしまった時は
水道管が凍結して水が出ないときは、自然と解けるのを待つが、凍結した部分にタオルなどをかけ、その上からぬるま湯をかけて解かしてください。

熱湯は絶対にかけないでください!
熱湯をかけると水道管や蛇口が破損する可能性があります。

漏水していないか確認を!
①家の中心部をぐるぐる回って確認
②メーターボックス内にある水道メーターの蓋を開けて、文字盤を確認してください。
③パイロットバルブの形から見るものが確認していたら漏水しています。
※確認は水道メーターの蓋を開けて確認してください。
※メーターボックスの多くは壁から奥へ入って1メートル以内のところにあります。

水道管の破裂や漏水を発見したときは
早く止水する!
漏水が発見したらメーターボックスの中央にある止水バルブを回して止水してください。

水が止まらぬ場合へ修理を依頼してください。
中津市指定給水設備工事事業に依頼して修理してください。修理費は自己負担となります。
※修理費は水道メーターボックスの位置によって異なります。
※修理費は水道メーターボックスの位置によって異なります。

「なかつメール」に登録をお願いします!
中津市指定給水設備工事事業に依頼して修理してください。修理費は自己負担となります。
※修理費は水道メーターボックスの位置によって異なります。
※修理費は水道メーターボックスの位置によって異なります。

上下水道に関するお問い合わせ
中津市上下水道部 TEL 0979-24-1234
TEL 0979-22-0924 FAX 0979-24-5675
中津市上下水道お客さまセンター TEL 0979-24-1382
TEL 0979-24-5675 FAX 0979-24-5675

水道管が破裂したら大変!
本格的な冬がくる前に凍結防止対策を!

水道管の凍結危険ラインはマイナス4℃です!!

水道管が凍結するとこんな大変です!!

- 水道管が破損・漏水し、蛇口から水が出ない
- 給湯器・温湯器が破損し、漏水する
- 水道管や給湯器・温湯器の修繕に多額の費用がかかる
- 漏水した分の水道料金を請求される

あなたの家の水道管は大丈夫? **水道管凍結リスクチェックリスト**

- 屋外で管がむき出しになっている
- 家の北側や日が当たらない場所にある
- 庭先や溝が深くはげている場所にある
- 家を長期閉鎖する予定がある
- 水道管が古いまたは水道管の保温材が劣化している

1つでもチェックがついた方は、早くと対策をお願いします!
冬は「なかつメール」で凍結防止対策をして、水道管や給湯器・温湯器を冬の寒さから守りましょう。

空き家の水道は閉栓を! 空き家の漏水は発見が遅れ、被害が大きくなります。
水道管の凍結は、凍結や凍結・凍結してしまつたときの凍結防止対策を、事前に実施してください。
※凍結防止対策は凍結防止剤の使用が有効です。
※凍結防止対策は凍結防止剤の使用が有効です。

中津市上下水道部からののお知らせです

大口水道利用者様へ 設備凍結・破裂による漏水や損害を防ぎましょう

敷地内の水道管が凍結・破裂して漏水すると…
一般のご家庭と比較して漏水量が非常に多くなり、自身の敷地内の水が出なくなるだけでなく、周辺地域にも影響を及ぼす恐れがあります!

凍結が起きやすい条件

- 屋外で管がむき出しになっている場所 (長時間使用しない給湯器・温水器は特に危険)
- 築物の北側や日が当たらない場所
- 気温がマイナス4℃以下になると危険 (夜間~早朝(無人になる時間帯))

凍結を防ぐための対策

敷地内の主要な配管、バルブ・メーター周辺を保温する
敷地内の主要な配管が凍結することによって、応急処置が必要になることがあります。また、メーターの故障は凍結しやすく、修理コストが高くなります。

対策

- 屋外や凍結しやすい場所の配管 (給湯器・温水器など) を保温材 (保温チューブ・保温テープなど) をしっかりと巻く。
- 凍結防止剤の使用は、凍結防止剤の使用が有効です。凍結防止剤は凍結防止剤の使用が有効です。凍結防止剤は凍結防止剤の使用が有効です。
- 使用頻度の低い水道管の場所を確認し、必要に応じて定期的な点検をする。
- 凍結防止剤の使用は、凍結防止剤の使用が有効です。凍結防止剤は凍結防止剤の使用が有効です。

敷地内の水道管は土地所有者様の財産です。
凍結防止対策を講じて、水道管を冬から守りましょう。

水道管凍結防止に関する啓発チラシ

大口利用者への凍結防止啓発資料

◆参考：継続した取り組み

・三口浄水場を災害に強い施設へと増強中です

上下水道部では、三口浄水場の耐震化・更新及び増設事業に取り組んでいます。令和3年度から配水池を1池から2池に増設する工事に着手し、令和5年度に新しい配水池が完成しました。現在、耐震未対応の古い配水池を更新する工事を工程に沿って順調に進めており、令和7年度末に完成する見込みです。

その後は、浄水能力を強化するための工事として、平成大堰取水口と三口浄水場を結ぶ導水管の布設工事や、急速ろ過池の更新・増設工事を実施してまいります。



三口浄水場の工事の進捗状況 (□は令和7年度末に完成予定の新配水池)

- (三口浄水場配水池の容量)
- 令和3年1月
6,400m³ × 1池 (耐震未対応)
 - 令和7年11月 (現在)
6,400m³ × 1池 (耐震未対応) + 6,900m³ × 1池 (耐震対応) = 13,300m³ (2池)
 - 令和8年3月 (予定)
7,430m³ × 1池 (耐震対応) + 6,900m³ × 1池 (耐震対応) = 14,330m³ (2池)